



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019. 3月号



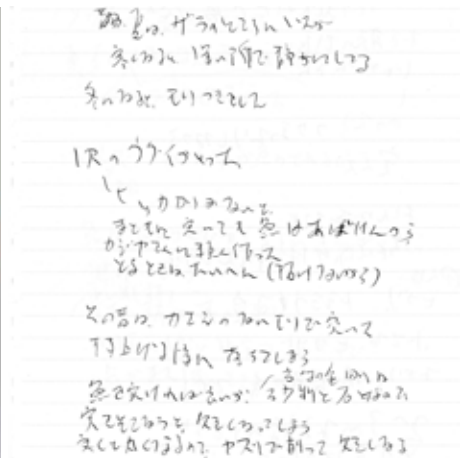
春期特別展

民具の物語

ひとつひとつの民具にそれぞれのストーリーがある……

◆会期 平成31年3月21日(木)～5月6日(月)

◆会場 平塚市博物館特別展示室



博物館には毎年20～30名の方々から年によっては1,000点以上もの民俗資料が寄贈されています。寄贈を受ける際には、それぞれのモノをいつどこで手に入れ、どのように使ってきたのかなどを、寄贈者の方へ問いかけることにしています。民具の使い方を具体的に教えていただける機会であり、ときには意外な使われ方をされていたことに驚かされることもあります。

この度の特別展は、モノにまつわるコト情報が充実している民具たちを集めてご紹介します。漁業や農業などのなりわいに使われた道具、衣食住の民具、特別な日だけに用いられたモノビの民具など、幅広いジャンルの民具が展示されます。それぞれの民具がたどったストーリーを通して、かつての地域の暮らしのようすを振り返っていただければと思います。

特別展関連行事

*記念講演会は午後1時30分開場、定員60名、参加自由。

◆記念講演会「民具を調べて分かること～平塚と相模原を比べてみると～」

日時：3月31日(日曜日)午後2時 講師：加藤 隆志氏(相模原市立博物館学芸員) 会場：博物館講堂

◆記念講演会「生きざまを伝える民具、生き方を伝える博物館」

日時：4月14日(日曜日)午後2時 講師：堀 充宏氏(葛飾区郷土と天文の博物館学芸員) 会場：博物館講堂

◆特別展示解説 日時：3月23日(土)、4月6日(土)、5月4日(土) 各回午後1時～1時50分 参加自由

空の色と光の科学

3月9日(土)～4月7日(日)

抜けるような青空にどんよりとした灰色の曇り空、紅く染まる夕焼けに月明かりに照らされた紺碧の空、雨上がりの虹に、太陽のまわりに広がるハロ…。空は様々な色に満ちています。それらの色は、光の様々な性質が生み出すもの。ただ見ているだけでも美しく不思議に思えるものですが、そこにちょっとだけ科学の視点を加えてみましょう。すると、普段の空の見方が、ちょっと変わるかもしれませんよ。



2018年5月21日に平塚市内で見られたハロ

相模川流域ジオツアー入門

毎年好評をいただいている「相模川流域ジオツアー入門」は、相模川流域を中心とした地域の地形や地層、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという企画です。

今年度の第4回は大磯駅から花水川河口までを歩きます。大磯はなぜ山を背負っているのか？照ヶ崎はなぜ岩場なのか？海岸付近に築かれた謎の横穴墓とは？・・・など大磯の地質や史跡の謎に迫ります。



第4回「大磯周辺の地層と史跡」

行き先 : 大磯駅～花水橋
 実施日 : 3月31日(日) 午後1時～午後4時
 参加申込 : 往復はがきに行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申込みください。
 締切 : 3月20日(水) (当日消印有効)
 定員 : 20名 (応募多数の場合抽選)
 備考 : 雨天時中止

←アオバトが飛来することで有名な県の天然記念物である照ヶ崎は、どのようにしてできたのでしょうか？

平塚の石仏を語る

「庚申信仰と平塚の庚申塔」「南金目の石仏」

日時：3月9日(土) 午後1時～4時
(開場は12時30分)

会場：博物館講堂

参加：自由 定員：60名



立野町 晴雲寺の庚申塔
延宝6年(1678) 建立

石仏の歴史、石像の意味、地域における石仏の信仰について、当館石仏を調べる会の会員がわかりやすくお話しする講演会です。

「庚申信仰と平塚の庚申塔」は、会員の中森勝之氏が庚申信仰の歴史を詳説し、市内の特徴ある庚申塔をご紹介します。

「南金目の石仏」では、石仏を調べることでわかる地域の信仰や歴史についてお話しします。

ぜひ、ご来場ください。



「南金目の石仏めぐり」で寂静寺の石塔を解説する会員

3.11 東日本大震災祈念プラネタリウム

星空とともに

2011年3月11日…東日本大震災発生。そのとき仙台の夜空に普段見ることができない満天の星が広がっていた…。仙台市天文台が制作した震災時の星空とそのときの人々の想いを題材にしたプラネタリウム番組を、震災から8年となる今年も投影します。

- 日 時：3月9日（土）・10日（日） 15時30分～
- 場 所：プラネタリウム室（全席自由席）
- 定 員：70人（先着順）
- 観覧料：無料（当日9時より1階受付で整理券を配布します）



DèL SoLè プラネタリウム・コンサート

～移り行く季節の中で～

平塚市博物館プラネタリウムには4回目の登場となる音楽ユニット DèL SoLè（デル・ソール）。バンド名の由来となった“太陽”のようにあたたかいしっとりした音楽がプラネタリウムの星空によく似合います。今回は初めて“春”に開催となるプラネタリウム・コンサート。彼らの曲は出会いと別れのこの季節にピッタリです。“移り行く季節の中で”変わらないものの象徴ともいえる星空とともに、彼らの楽曲をお楽しみください。



< DèL SoLè >

2006年9月に結成。作曲 & Violin miho、Drums&Percussion 長谷頼晃の2人組ユニット。バンド名の由来は、ポルトガル語で、delsole（太陽）＋英語のsoul（魂）。今回はサポートゲスト（キーボード）に一戸智之を迎える。

日時：3月22日（金）（1）午後3時～（2）午後7時～
（開場30分前／各回90分程度）

場所：プラネタリウム室（全席自由席）

定員：各回60人（応募多数時抽選）

申込：往復はがきに行事名・代表者氏名・住所・電話番号・人数
（一枚のはがきで3人まで）・希望する回（どちらか一回のみ）
を書いて博物館へ申込。3月13日（水）当日消印有効。

観覧料：500円（18歳未満・65歳以上300円）

体験学習「身近な自然を楽しもう」

～水田と雑木林の生き物紹介と小物作り体験～

講師：東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境課程 藤吉研究室

平塚市では、主に金目川周辺に水田が、西部の丘陵地に雑木林が存在しています。それらの環境において、人々は水田でイネを栽培し、雑木林で木材を生産してきました。また、それらは人々の生活の場所であると同時に、生き物の棲みかとしても大切な役割を担っています。

今回の体験学習では、それらの環境にいる生き物の紹介とそこで手に入れたものを利用し、小物作り体験を実施したいと思います。私たちと一緒に五感を使って生き物や小物作りを楽しみましょう！



▲コースターと箸

日時：3月9日（土）午前10時～午後4時

場所：1階 科学教室 参加費：無料

定員：先着50名（クラフトは材料がなくなり次第終了）

<体験内容>

- ・木材を活用したクラフト体験（コースターと箸作り）
- ・生き物クイズ（シルエットクイズと棲みか探し）
- ・水田や雑木林の湧き水を用いた水質実験



▲里山での整備活動の様子

1	金	古文書講話会 聞き書きの会	講堂 特別研究室	
2	土	東国史跡踏査団 ◎ 星空散歩	野外/講堂 プラネタリウム	☆
3	日	天体観察会 流星分科会	科学教室	☆
4	月	休館		
5	火			
6	水			
7	木	展示解説ボランティアの会 古文書講話会	講堂 講堂	
8	金	お囃子研究会	講堂	
9	土	◎ 星空とともに ◎ 平塚の石仏を語る ◎ 体験学習「身近な自然を楽しもう」	プラネタリウム 講堂 科学教室	☆
10	日	平塚の古代を学ぶ会 ◎ 星空とともに	科学教室 プラネタリウム	☆
11	月	休館		
12	火			
13	水			
14	木	平塚石仏の会 古代生活実験室	特別研究室 科学教室	
15	金	古文書講話会	講堂	
16	土	地域史研究ゼミ 平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室 特別研究室	☆
17	日	天体観察会 定例会	講堂	☆
18	月	休館		
19	火			
20	水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学教室 講堂	
21	木	展示解説ボランティアの会 古文書講話会	講堂 講堂	
22	金	聞き書きの会 ○ プラネタリウムコンサート	特別研究室 プラネタリウム	
23	土	地球科学野外ゼミ お囃子研究会 春期特別展展示解説 ◎ 館長の星空解説 いつもの星空	野外 講堂 講堂 プラネタリウム	☆
24	日	◎ 天文学入門講座	講堂	☆
25	月	休館		
26	火	天体観察会 太陽分科会	特別研究室	
27	水			☆
28	木	石仏を調べる会	講堂	☆
29	金			
30	土	天体観察会 天文学分科会	特別研究室	☆
31	日	○ 相模川流域ジオツアー入門 ◎ 春期特別展講演会	野外 講堂	

1	月	休館		
2	火			
3	水			
4	木	展示解説ボランティアの会	講堂	☆
5	金	古文書講話会	講堂	
6	土	◎ 春期特別展展示解説	特別展示室	☆
7	日	◎ 星空散歩	プラネ	☆
8	月	休館		
9	火			
10	水			
11	木			
12	金	古文書講話会 お囃子研究会	講堂 講堂	
13	土	◎ 天文学入門講座	講堂	☆
14	日	地球科学野外ゼミ ◎ 春期特別展講演会	特別研究室 講堂	☆
15	月	休館		
16	火			
17	水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学教室 講堂	
18	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
19	金	古文書講話会	講堂	
20	土	○ 相模川流域ジオツアー お囃子研究会 ○ 自然教室	野外 講堂 野外	☆
21	日	天体観察会 流星分科会 平塚の古代を学ぶ会 天体観察会天文学分科会	特別研究室 科学教室 特別研究室	☆
22	月	休館		
23	火	天体観察会太陽分科会	特別研究室	
24	水			
25	木	古代生活実験室 石仏を調べる会 古文書講話会	科学教室 講堂 講堂	
26	金	聞き書きの会 ◎ 星を見る会	特別研究室 屋上	
27	土	東国史跡踏査団 地域史研究ゼミ 平塚の空襲と戦災を記録する会 ◎ 最新天文学講座	講堂(雨天) 特別研究室 特別研究室 講堂	☆
28	日	天体観察会定例会 天体観察会太陽分科会初心者コース	講堂 講堂	☆
29	月			
30	火	休館		

ブ 特 寄 情
は や ぶ さ 2 の 挑 戦 (3月31日まで)
湘 南 の 地 質
空 の 色 と 光 の 科 学 (4月7日まで)
民 具 の 物 語 (5月6日まで)
情 ミニ文化祭「高校生がーから調べた秦野の歴史〜草山貞胤・湘南馬車鉄道・御旗奉行」(県立秦野首屋高校日本史研究部)

ブ 特 寄 情
サザンクロスへの旅
空の色と光の科学
ポスト企画展「平塚の野鳥写真展」(5月12日まで)
平成を振り返る(5月8日まで)

☆: プラネタリウム投影日 ◎: 申込制行事 ○: 参加自由 無印: 年間会員制
プ: プラネタリウム一般投影 特: 特別展 寄: 寄贈品コーナー展示 情: 情報コーナー展示

3月の休館日: 4日、11日、18日、25日

【3月の展示】

- 特別展 (会場: 平塚市博物館1階特別展示室)
「民具の物語」1頁参照 3月21日(木)～5月6日(祝)
- 寄贈品コーナー展示 (会場: 平塚市博物館1階寄贈品コーナー)
「湘南の地質～プラタモリでいえなかったこと～」～3月3日(日)
内容: 湘南の大地や海の成り立ちを紹介します。
「空の色と光の科学」2頁参照 ～4月7日(日)
- 情報コーナー展示 (会場: 平塚市博物館2階情報コーナー)
ミニ文化祭「高校生がーから調べた秦野の歴史～草山貞胤・湘南馬車鉄道・御旗奉行」(県立秦野首屋高校日本史研究部)～3月23日(土)

【3月の行事】

- ◎天文学入門講座「宇宙図を読む」第4回「宇宙のつくりかた」
内容: 宇宙の誕生と進化について解説します。
日時: 3月24日(日)午後3時30分～午後5時 開場は午後3時15分
場所: 講堂 定員: 50人(先着順) 参加: 自由(無料)

【3月のプラネタリウム】

- 定員: 70人 観覧料: 200円(18歳未満・65歳以上無料)
- 観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
- 全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退場はできません。
- 65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください。
- ☆プラネタリウム一般向け番組「はやぶさ2の挑戦」(所要50分)
内容: 「はやぶさ2」のミッションを臨場感あふれるCGとともに紹介します。
投影日時: 3月31日(日)までの土・日曜日の午前11時(9、23日を除く)・午後2時
- ☆プラネタリウム幼児投影「ほしみるおじさん」(所要50分)
投影日時: 3月9日(土)、23日(土) 午前11時
- ☆プラネタリウム特別投影「星空散歩」(所要50分)
内容: 星空をたっぷりご覧いただく投影です。
投影日時: 3月2日(土) 午後3時30分
- ☆プラネタリウム特別投影「館長の星空解説 いつもの星空」(所要50分)
内容: 博物館長が解説します。今夜の星空や3月に見ておきたい星座など。
投影日時: 3月23日(土) 午後3時30分
- ☆プラネタリウム特別投影「星空とともに」(所要50分) 3頁参照

あなたと博物館 46巻11号 通算506号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>